



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

平成 29年12月25日 No.8

自分をPRできる喜び

12月に入り、3年生は受験に向けて校長・副校長による面接練習を行っています。極度の緊張から自分でも何を答えたのかよく覚えていない状態の生徒もいれば、落ち着いて自分の考えを的確に説明できている生徒もいます。

こうした違いは何が原因で起こるのでしょうか。それは「Q&A」などの作成に代表される様々な準備の程度による差も大きいと思うのですが、それ以上に面接に対する不安感の大きさが影響しているように感じます。特に自分の不得意なことや失敗したことなどを問われたときにどのように答えればよいのか分からずに不安を感じている生徒が多いように思います。

しかし、世の中に苦手なことが何一つないという人間はいないはずで、冷静に考えると、この種の質問で面接官が聞きたいのは、苦手なことにどのように対処する生徒なのかということだと思います。苦手だから、嫌いだから仕方がないといって放っておくのか、それとも苦手なことを克服するために少しずつでも努力をするのかだと思います。苦手なことを克服するために努力をするということを相手に伝えることができれば、正解であり、むしろ自分の弱点を知り、それを直そうとする人は、何か困難なことに遭遇しても逃げずに努力を続けることができる人と評価されるのではないのでしょうか。このように考えれば、面接というのは自分の得意なこと、やりたいこと、将来の夢をPRできる場、苦手なことも克服するために努力できることをPRできる場と思うことができるのではないのでしょうか。心持ち一つで表情は大きく変わります。自然と落ち着きがでて、笑顔を伴って受け答えができると思います。

生徒たちのこれからの頑張りに期待しています。

地域清掃が行われました

12月8日（金）の放課後に生徒会本部役員と環境美化委員が青少年第五地区委員の皆さん、PTAの委員の皆さんの協力を得て、地域清掃が行われました。当日は、いまにも雨が降りそうなどとも気温の低い日でしたが、皆さんの協力で地域の道路や公園のゴミを拾いました。清掃箇所や配置人員などを生徒が計画し、大人の協力を得て進めるようになって2年目です。生徒たちは、「やらされる」から「やる」という意識が強くなり、モチベーション高く、てきぱきと精力的に活動することができました。

徐々に生徒たちにボランティアの精神が根付いているように感じられ、頼もしく感じるとともに大変うれしく思います。



防災ボランティアについて

12月16日（土）に新町小学校を会場に府中市の総合防災訓練が行われました。震災の発生を想定し、近隣の住民の方々が避難所となる新町小学校に集合し、いざという時の動きを確認するものでした。

当日はこの訓練に府中五中の生徒11名が参加し、避難住民の誘導や避難所設営のお手伝いをしてくださいました。新町小学校に通う児童の保護者や地域の方々からは、「中学生が参加し、協力してくれることは心強く感じるし、安心する」という感謝と励ましの言葉をいただきました。

災害発生時に中学生は、自らの命を守ったうえで、他の人々のために様々な活動のお手伝いをするのが求められます。毎年7月に1年生が「防災スクール」として様々な災害時の対応について学んでいますが、そこで得た知識と体験を生かし、校外でも防災に関して積極的に活動する五中生であってほしいと思います。



1月13日の学校公開日について

3学期に入ってすぐの1月13日（土）の学校公開は、パラリンピアンをお招きして、「車いすバスケットボール」の体験及び講演を予定しています。

また、同日の午後には、校庭及び校庭周辺の草刈りを部活動の生徒を中心にボランティア活動として実施します。ご多用とは存じますが、多くの保護者・地域の方々の参観並びに参加をお願い申し上げます。

2学期を終えて

1年の中で一番長い2学期が終わりました。3年の修学旅行や合唱祭などの多くの行事もあり、保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。

今学期は、生徒に毎時間の授業を集中して受けること、行事には学級や学年全体としての力を発揮すること、学校生活では約束ごとを守り、規律あるTPOをわきまえた行動をすること、そして、気持ちの良い元気なあいさつをすることなどを目標として示しながら教育活動を進めてきました。生徒は多くの部分で精一杯努力し、徐々にでも確実に成果を出してくれたと思っています。新学期は1年の締めくくりの3学期となります。これまででできたところ、良いところをより一層伸ばしていきたいと思っています。来年もどうぞよろしくお願いたします。